

# SCIO

Socialization

IIndependence

Correction

Orientation

関東矯正管区管内

少年矯正広報紙

スキオ

NO. **91**

特集

支援教育課程Ⅱ（N2）在院者の処遇について  
—八街少年院における取組—  
—新たな処遇プログラム—

コラム

千葉少年鑑別所主催

立ち直り支援研修会

未来にはばたく！

# 八街少年院



## 八街少年院の紹介

八街少年院は、法務省が管轄している、関東甲信越・静岡の家庭裁判所で少年院送致の決定を受けた15歳以上20歳未満の男子少年を収容し、矯正教育を行う施設です。

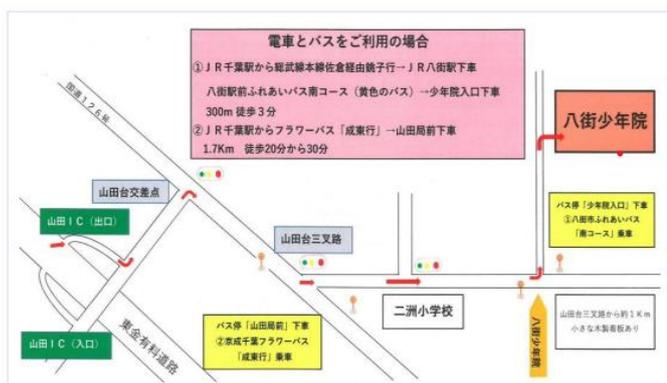
昭和24年に千葉県八街市に創設され、建物老朽化に伴う全面改築工事を行い、平成8年3月に現在の建物に一新しました。

当院は、①社会適応課程Ⅱ（A

2）と②支援教育課程Ⅱ（N2）、③保護観察復帰指導課程Ⅰ（P1）及び④保護観察復帰指導課程（P2）という教育課程を有しています。

自己統制力を高め、健全な価値観を養い、堅実に生活する習慣を身に付けるための各種指導や、特性に応じた自己理解や社会生活に適應する力を身に付けるための各種指導を重点的に実施しています。

また、当院の特色ある処遇プログラムとして、GMaC（動物（犬）介在活動）や被害者心情理解指導グループワーク、演劇ワークショップ、坐禅教室など、外部講師の協力を得て実施しているものや、開庁以来実施している剣道訓練があります。近年は地域社会とのつながりを体感する、八街市民のための土のう作成などの社会貢献活動にも力を入れています。



八街少年院案内図



施設を見守るモチノキ

## ◆特集 一 支援教育課程Ⅱ（N2）在院者の処遇について

当院は、令和7年度から支援教育課程Ⅱ（N2）が指定され、「情緒障害若しくは発達障害又はこれらの疑いのある者及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要するものに対する教育」を開始しました。N2の在院者に対する重点教育内容は、「障害等その特性に応じた、社会生活に適應する生活態度・対人関係を身に付けるための各種の指導」です。これを踏まえて、八街少年院では支援教育課程Ⅱの教育の在り方について検討を行い、8月から収容を開始しました。今回は、特に障害や特性を考慮した当院の教育活動について紹介します。

### ■ 当院における支援教育課程Ⅱの取組と現状 ■

#### ◆生活環境の整備

生活寮はN2の在院者のみで編成し、個室や一人掛けの座席を中心とすることで、安心して日課に取り組める環境を整えました。

#### ◆体育指導

在院期間を通じて、日常生活や就労に必要な基礎体力の向上を目的とした筋力トレーニングや剣道訓練を行います。剣道訓練では「人間形成」の理念を大切に訓練しています。

#### ◆職業指導

2級生になると陶芸作業を実施します。就労をイメージした取り組み姿勢や集中力の向上を図るとともに、製品の作成・販売を通じて、社会参加の意識の涵養を行います。

#### ◆新たな教育プログラムの実施

福祉支援講座や、演劇的手法を用いたワークショップを開始しました。非認知能力向上や特性理解にフォーカスした教育活動です。

#### ◆処遇検討会の充実

福祉専門官や矯正医官、社会福祉士等の専門家と法務教官が連携して、個々のニーズや特性について共有する体制を作りました。

#### ◆行事、社会貢献活動

進級式や運動会といった行事、土のう作成のような社会貢献活動などは、他の矯正教育課程の在院者と一緒に行います。



- ①生活寮のホール
- ②陶芸作品
- ③剣道訓練の様子

## ◆特集② ー新たに取り入れたプログラムの紹介ー

### 福祉支援講座

全8回のプログラムで、福祉専門官が中心となって指導を行います。各種福祉支援制度に関する知識の付与や、自己理解を通じて個々の状況に応じた、自分に必要な支援を考えられるよう、当院で作成したワークシートに取り組み、小グループでの作業を通じた指導を行ったりしています。年間を通じて繰り返し実施することで、知識の定着、自己理解の深まりを促すこととしています。また、「自分の取り扱い説明書」を作成することで、社会復帰後に他者に理解してもらうための教育も行っています。

みくししえんこうご だい かい  
福祉支援講座 (第1回)

ワークシート

年 月 日 担任: 先生 氏名

はじめに「福祉」って、どんなイメージがある？

思い浮かぶことを書いてみよう (当てはまる言葉を○で囲む)

福祉って... ( ) 人のためのもの。  
→自分には ( 関係ある / 関係ない ) と思っている。  
→聞けてもわかって、( いいこと / 悪くないこと ) だと思う。

「身近にある福祉」見たことがあるものに✓をつけよう

高齢者の  
 福祉施設  
 多目的トイレ  
 障がい者手帳  
 相談窓口や支援センター  
 その他 ( )

→これらはみんな「困っている人が安心して生きられるように」作られているよ

「自分の周りの困りごと」にあてはまることはある？

こんなことで困ったことある？ (✓をつけてね)

学校の勉強が分からない  
 誰にお金が無い  
 働きたいけど自信がない  
 誰のともまじりたくない  
 相談できる人がいない  
 ほかに困ったこと ( )

みくししえんこうご だい かい  
福祉支援講座 (第8回)

ワークシート

年 月 日 担任: 先生 氏名

まぶが好きなこと (えらんで○で囲もう！)

スポーツ ゲーム 音楽 どうぶつ おしゃべり 絵を描く 書くこと やすむこと  
散歩 読書 映画 テレビ YouTube SNS 鑑賞 サウナ ヨガ 話しの  
ジョギング 食べること 寝ること ダンス その他 ( )

★その中でも特に好きなのは？

まぶが苦手なこと (いやなこと、こまること)

大きな声 たくさんの人 待つこと 新しいこと 遅いこと 急に変わること

★そのほかがある？ (自分で書いてみよう)

こんなとき、こうしてほしい。

こんなとき してほしい

泣いているとき

笑っているとき

話しているとき (やり方がわからない)

そうしてほしいとき

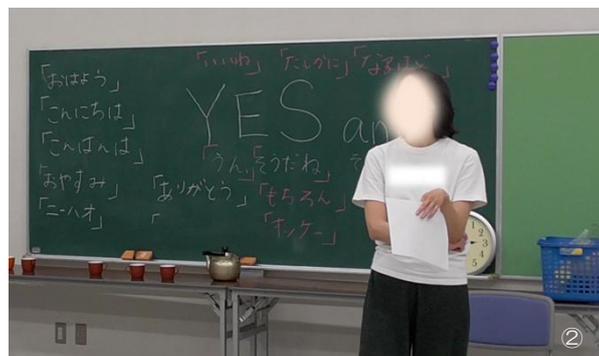
### 演劇手法を用いたワークショップ

外部講師として、演劇に携わる俳優さんを講師として招いて実施しています。支援教育課程Ⅱの在院者に実施するプログラムの中でも、特に「楽しいと思って参加できるプログラム」として設計しました。ワークショップを通じて、言葉での説明が難しい、「自分を知る」、「他人を知る」、「他人と協同する」といった感覚を体験的に身に付けていきます。

月に1回の実施のため、まだ実施回数は少ないですが、これまでのところ参加者からは好意的な感想が聞かれており、積極的な参加姿勢が見られます。社会で生きる力、非認知能力の向上を目指します

#### ■ 演劇ワークショップのテーマ ■

①自分を信じる	感情を観察し、安心できる状態に戻す
②他者と関わる	否定されずに話す・聴く・頼る
③協同する	小さなことでも誰かと「一緒にやってみる」
④表現する	言葉や体を使って「自分なりに伝える」



ワークショップの様子

- ①「2分かけて座ってみる」
- ②「Yes and」(言葉のキャッチボール)

# 千葉少年鑑別所

コラム

令和7年度

## 立ち直り支援研修会

関係機関が  
「ともに学ぶ」

千葉少年鑑別所では、関係機関の職員を集め、  
非行防止に関する専門的な研修会を開催しています。

60名以上が毎回参加

児童相談所  
警察少年センター  
保護観察所  
SSW  
(スクールソーシャルワーカー)  
精神科医  
発達障害者支援センター  
スクールカウンセラー  
精神保健福祉センター

### 第1回 非行の元当事者が支援する立ち直り

R7.7.31 14:00-17:00

NPO法人  
チェンジングライフ  
野田 詠氏 様



講義終了後も  
講師に長蛇の列



@千葉市生涯学習センター

### 第2回 発達障害とゲーム・ネット・スマホにはまる子どもたち

R7.10.17 10:30-17:00

愛知県西三河福祉相談センター  
精神科医 吉川 徹 様

千葉県警 共催



講義・事例検討・質疑  
終日 熱気あふれる



@千葉県社会福祉センター

### 第3回

1回の面接でできること

～『ひこうの相談』から考える～

原稿作成時未了

R8.1.21 13:45-17:00

白金高輪カウンセリングルーム  
臨床心理士 東畑 開人 様

約80名  
参加予定



@千葉市民会館



在院者が作成した令和7年度運動会の大看板 タイトル「頂天を狙え!!」

関東矯正管区管内少年矯正広報紙 SCIO（スキオ）

第91号 令和8年2月発行

編集責任者 関東矯正管区少年矯正部長 川島敦子

編集・印刷 八街少年院

〒 289-1123

千葉県八街市滝台1766

電話 043-445-3787

「SCIO」（スキオ）とは、ラテン語で、「知る」という意味です。それは矯正教育の目標でもある、次の四つの英単語の頭文字の組合せから成る言葉でもあります。

Socialization（社会化）

Correction（矯正）

Independence（自立）

Orientation（方向付け）

次号は令和8年6月に刊行の予定です。